

令和7年度 総会資料

「国宝松本城を世界遺産に」 推進実行委員会



(第25回国宝松本城絵画コンクール会長賞)

令和 7 年 6 月 5 日 (木)

あがたの森文化会館 講堂1階 ホール

総 会 次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 世界遺産に係る松本市の現状

4 議事

- | | |
|-----------|--------------------|
| (1) 報告 | 令和7年度実行委員会役員体制について |
| (2) 議案第1号 | 令和6年度事業報告 |
| (3) 議案第2号 | 令和6年度収入支出決算 |
| (4) 議案第3号 | 令和7年度事業計画（案） |
| (5) 議案第4号 | 令和7年度収入支出予算（案） |
| (6) その他 | |

5 閉会

(報告)

令和7年度実行委員会役員体制について

規約第6条

役員の任期は、実行委員会が解散するときまでとします。但し、団体の中で異動があったときは、その後任者が継承します。

令和7年度の実行委員会役員は、次のとおりとします。

<実行委員会役員>

区分	旧	新	職名等
会 長	臥 雲 義 尚	同	松本市長
副会長	上 條 温	阿 部 功 祐	松本市議会議長
副会長	赤 羽 郁 夫	同	松本古城会長
副会長	井 口 弥 寿 彦	同	信濃毎日新聞社常務取締役松本本社代表
副会長	中 田 景 文	同	松本市町会連合会長
副会長	赤 羽 眞 太 郎	齊 藤 茂 行	松本商工会議所会頭代行
副会長	田 中 均	同	松本ハイランド農業協同組合代表理事組合長
監 事	神 澤 陸 雄	同	長野県経営者協会中信支部長
監 事	濱 幾 郎	同	松本ユネスコ協会長

(顧問) 田 中 莊 太 (同) 松本古城会名誉会長 (前松本古城会長)

<事務局>

信濃毎日新聞松本本社
松本市文化観光部文化振興課

令和6年度事業報告

1 「松本城の日」制定記念事業

(1) 「松本城の日記念講演」による普及啓発

松本城の世界遺産登録に向けた取り組みへの市民の理解を深め、機運の醸成を図るため、講演会を実施しました。今回は、世界遺産の専門家を招いて、世界遺産登録への道のりや市民の皆様との関わり方など、世界遺産に関する基礎を学びました。

ア 開催日：11月10日（日）

イ 会場：松本市立博物館 講堂

ウ 聴講者：50名

エ 内容：「世界遺産とは何か

市民が守る世界遺産の価値」

講師）NPO法人世界遺産アカデミー

主任研究員 宮澤 光 氏



講演会チラシ

(2) 『松本城の日新聞』による普及啓発

令和4年に掲載した記事を再編集した『松本城の日新聞』を増刷し、「松本城の日」及び市内中学3年生に配布しました。教員向けに、「松本城の日」及び市川量造に関する資料を合わせて配布し、学校の朝会などでの話題提供となるよう依頼をしました。

配布数：2,400部



松本城の日新聞

(3) 「松本城の日」PR用ロゴの活用

「松本城の日」PR用の実行委員会ロゴを市内企業等に使用していただくことで、松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取り組みのPRに協力いただきました。

活用実績：計3件

(松本国際アート展示会 un do、郵便局ほか)



un do 展チラシ

(4) 県民向け普及啓発

松本城の日（11月10日）当日の新聞朝刊に全面広告を掲載し、県民に対し広くPRを行いました。また、広告売上げの一部を実行委員会に寄付いただきました。

ア 広告媒体：信濃毎日新聞（1社）

イ 掲載日：11月10日（日）朝刊（約39万部発行）

ウ 内 容：『松本城大解剖』と題し、市内大学の学生が
天守や城下町について取材し記事にしたものを掲載



学生の取材の様子

(5) 来訪者向け普及啓発

【看板】

松本城の日を含む11月の約1か月間、二の丸公園内に「松本城の日」のPR看板を設置しました。

ア 設置場所：松本城黒門前

イ 周知期間：11月5日（火）～29日（金）

ウ 参 考：90,004名（11月の松本城来観者数）



看板設置の様子

【ノベルティ配布】

「松本城の日」当日に、甲冑アルプちゃん、松本古城会会員、県ヶ丘高校の生徒の協力のもとノベルティを配布しました。

ア 配布数：先着300セット

（クリアファイル、松本城の日新聞、

石川親子マグネットシート、ポストカード、風船）

イ 配布日：11月10日（日）



配布の様子

【パネル掲出】

「松本城の日」や世界遺産登録活動について広く周知するためのパネルを設置しました。

ア 掲出場所：松本市立博物館2階

イ 掲出期間：11月18日（月）～12月27日（金）



パネル掲出の様子

(6) 実行委員会会員（日本郵政株式会社）との連携による普及啓発
【切手シート】

「松本城の日」記念切手を製作し、PRを行いました。令和4年から3年目の取り組みです。

- ア 制作部数：1, 200シート（110円切手×10枚）
- イ 販売局：松本市内の全郵便局（41局）
- ウ デザイン：塩入久氏（木版画家）

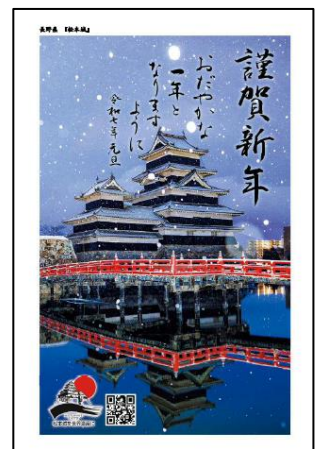


松本城の日記念切手

【年賀はがき】

実行委員会ロゴを入れた令和7年新年用の年賀はがきを新規に製作・販売し、PRを行いました。

- ア 制作部数：1, 000枚
- イ 販売局：中信地区郵便局 102局



年賀はがき

2 「近世城郭の天守群」関係自治体による連携事業

(1) 第5回3市市民交流事業

国宝5城による「近世城郭の天守群」での世界遺産登録に関する普及啓発活動として、現在協力している3市（犬山・松江・松本）の市民で、交流及び先進事例を学ぶため講演会や意見交換を行いました。

- ア 開催日：10月7日（月）～8日（火）
- イ 開催場所：松本市
- ウ 行程

〈1日目〉松本城視察

アルプス善意通訳協会 中田理事長による城内案内

〈2日目〉講演会及び意見交換会

講演会：題名「Way to the World Heritage～世界遺産への道～」

講師）白川郷荻町の自然環境を守る会 元会長

（現 田島家養蚕記念館館長） 三島 敏樹 氏

意見交換会：テーマ「保存と観光にかかる課題と対応について」
「インバウンド対応について」
「次年度以降の取り組みについて」

エ 参加数：15名



視察の様子



講演会の様子

(2) SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」による情報発信

毎月ラジオにて、国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取り組みを紹介するCMを放送し、県民向けに周知啓発を行いました。また、SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」に出演し、世界遺産の現状や国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取り組み、松本城の魅力発信を行いました。

令和6年度は、連携する2市（犬山、松江）の担当者にも出演いただき、2城の取り組みなどについてお話いただきました。

ア C M：月2回放送（第1・3月曜日20秒CM）

イ 出 演：全12回（月1回出演）

ウ 出演者：松本市の職員（ゲスト：犬山市、松江市職員ほか）



番組名

(3) 国宝五城天守合同床磨き

国宝城郭都市観光協議会の主催により、国宝5城が同日に床磨きを実施し、オンライン中継により交流を図る取り組みが初めて実施されました。実行委員会も参加し、天守の保存を図るとともに、「近世城郭群の天守群」の世界遺産登録に向けた周知を行いました。



中継の様子

ア 開催日時：8月17日(土)

(松本城では7時15分から30分程度)

イ 参加数：160名（うち実行委員会参加者100名）

(4) パンフレットによる普及啓発

「近世城郭の天守群」について解説するパンフレットを製作し、事業参加者に配布しました。世界遺産登録に向けた取組みの周知だけでなく、「近世城郭の天守群」について理解・興味を深めることを目的としたものです。

(5) 「出張！お城EXPO in 坂井・丸岡城 2024」での普及啓発

福井県坂井市（丸岡城）で開催された出張版お城EXPOに参加し、松本城ブースでの普及啓発活動を行うとともに、他の城の担当者等と交流を図りました。



EXPOでのPRの様子

ア 日 時：10月12日（土）～13日（日）

イ 場 所：坂井市

ウ 内 容：ノベルティの配布、視察

3 教育活動による普及啓発

松本城の将来にわたる保存を見据え、松本城や世界遺産登録に関する若年層の興味・関心を高めるための事業を実施しました。

(1) （小学生対象）松本城親子探検ツアー「国宝松本城七不思議」

小学生や子育て世代の方に、松本城や他の城に関する知見や愛着を深めてもらうことを目的に開催しました。



親子体験ツアーの様子

ア 開催日：12月7日（土）

イ 参加数：親子13組28名

ウ 内 容：松本城の七不思議に関する問題を、現存する5つの国宝天守とも比較しながら出題し、松本城の魅力を伝えました。

(2) （小学生対象）松本城検定クイズ

市内小学校へ出向き、松本城研究専門員を講師に、松本城や世界遺産に関するクイズを出題することで理解を深めてもらうものです。小学3～4年生向けに天守に関するクイズ、小学6年生向けに城下町に関するクイズを行っています。ノベルティとして、「松本城の日」や松本城に関するキーワードを解説した『松本城百科』（R5「松本城の日」広告として掲載）を印刷し配布しました。

参加数：11校862名

【清水小学校】

- ア 実施日：6月18日（火）
- イ 参加者：3年生2クラス74名

【山辺小学校】

- ア 実施日：6月21日（金）
- イ 参加者：4年生3クラス96名

【菅野小学校】

- ア 実施日：7月1日（月）
- イ 参加者：3年生3クラス94名

【開智小学校】

- ア 実施日（参加者）：7月19日（金）（4・6年生64名）
- イ 実施日（参加者）：11月28日（木）（3年生3クラス104名）

【鎌田小学校】

- ア 実施日：9月6日（金）
- イ 参加者：3年生5クラス161名

【中山小学校】

- ア 実施日（参加者）：10月7日（月）（6年生1クラス14名）
- イ 実施日（参加者）：10月9日（水）
（3年生1クラス19名、4年生1クラス17名）

【波田小学校】

- ア 実施日：10月10日（木）
- イ 参加者：3年生3クラス120名

【島立小学校】

- ア 実施日：10月21日（月）
- イ 参加者：3年生1クラス35名

【大野川小学校】

- ア 実施日：11月15日（金）
- イ 参加者：3年生1クラス4名

【筑摩小学校】

- ア 実施日：11月19日（火）
- イ 参加者：4年生2クラス60名



松本城検定クイズの様子

(3) （特別支援学校対象）松本城検定クイズ

市内外の特別支援学校へ出向き、松本城研究専門員を講師に、松本城や世界遺産に関するクイズを出題することで理解を深めてもらうものです。参加者には実行委員会ノベルティを配布しました。

【安曇養護学校高等部あづみ野分教室】

ア 日 時：5月10日（金）

イ 参加者：2年生1クラス8名

(4) （小・中学生対象）第25回国宝松本城絵画コンクールでの情報発信

松本城の写生を通じて、小中学生が松本城への興味関心を深めてもらうためのものです。令和3年度に特別賞として「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会会長賞を設けました。

ア 主 催：松本市、松本市教育委員会、信濃毎日新聞社

イ 特別協力：実行委員会

ウ 開 催 日：12月2日（月）

エ 開催場所：松本城周辺

オ 応募数：239点

カ 結 果：入賞35点（特選8点、金賞7点、銀賞8点、銅賞9点、特別賞3点）

入選30点

※「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会会長賞（特別賞）は 小学生2名、中学生1名が受賞

キ 作品展：1月24日（金）～26日（日）に井上百貨店にて展示



特別賞受賞作品

(5) 学生（高校生・大学生）との連携

県ヶ丘高校探究科の生徒が松本の文化を広めることをテーマに学習し、その中で世界遺産登録活動を取り上げてもらいました。松本城の日のノベルティ配布など、普及啓発活動にも協力いただきました。

4 デジタルを活用した情報発信

(1) 動画による情報発信

世界遺産登録に向け連携している2市の協力を得て、国宝3城天守（松本、犬山、松江）を紹介する動画を制作しました。松本城管理事務所横及び市立博物館のビジョンでの放映と、SNSから発信し普及啓発を行いました。



市立博物館での放映の様子

(2) 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会公式SNS等での情報発信

松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録へ向けた取り組みや松本城の価値を知ってもらうため、公式SNSやHPから情報発信を行いました。

投稿回数：Instagram 35回、HPスケッチ 月に1回程度

5 松本市内35地区への普及啓発事業

松本城を含む国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向け理解を深め、一層の機運醸成を図ることを目的とし、平成29年度から継続的に実施している事業です。

市民を対象に、松本城の歴史や国宝5城、世界遺産の現状を解説する座学と、松本城見学を2本立てで実施するもので、令和6年度は4地区の市民に対し実施しました。

(平成29年度からの継続事業 25/35地区終了)

<令和6年度実施地区>

【和田地区】

12月17日(火) 講座	11名
12月24日(火) 松本城見学	16名

【神林地区】

12月20日(金) 講座	10名
1月8日(水) 松本城見学	16名

【城北地区】

1月24日(金) 講座	17名
1月30日(木) 松本城見学	17名

【本郷地区】

2月21日(金) 講座	9名
2月28日(金) 松本城見学	9名



座学の様子



見学の様子

6 ノベルティ製作による普及啓発

(1) 松本山雅共同クリアファイル

松本山雅と共同でクリアファイルを製作し、実行委員会事業（松本検定クイズ）を中心に小学生に配布しました。

ア 製作時期：7月

イ 配布数：500枚

(2) その他

ノベルティを製作し、「松本城の日」など実行委員会事業で配布しました。

ア 風船 1,000個

イ メモ付き付箋 200個

ウ メモ帳（ななめもーる） 1,000冊

令和6年度収入支出決算書

【令和6年度繰越額】 2,635,545（収入）－ 2,320,985（支出）＝314,560

<収入>

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 負担金	1,950,000	1,950,000	0	松本市、信濃毎日新聞社各50万円、 松本商工会議所、松本古城会各30万 J A松本ハイランド5万円 信越放送松本放送局30万円
2 寄付金	0	150,000	150,000	信濃毎日新聞社
3 繰越金	535,000	535,000	0	
4 売上額	5,000	0	-5,000	ピンバッジなど販売
5 雑入	10	545	535	預金利息
収入合計	2,490,010	2,635,545	145,535	

<支出>

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 会議費	6,000	4,002	-1,998	総会・役員会飲料代他
2 事業費	2,413,000	2,285,653	-127,347	実行委員会ホームページデータベース制作費（132,000） ホームページ保守管理費（66,000） 松本城・旧開智学校絵画展協賛（80,000） イコモス年会費（50,000） 5城連携に関わる情報発信事業（550,000） 「松本城の日」関連事業費（669,295） 会員連携事業（250,101） クリアファイル協賛（66,000） その他（422,257）
3 事務費	15,000	11,330	-3,670	振込み手数料
4 事務局費	20,000	20,000	0	人件費
5 予備費	36,010	0	-36,010	
支出合計	2,490,010	2,320,985	-169,025	

<残高>

(単位：円)

科目		備考
預金	314,560	R7年度へ繰り越し
現金	0	
残高計	314,560	R7年度へ繰り越し

会計監査報告

令和 7 年 4 月 21 日

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会
会長 松本市長 臥雲 義尚 殿

監事 長野県経営者協会中信支部長

神澤 陸雄 

監事 松本ユネスコ協会会長

張 幾郎 

令和 6 年度「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会の収入支出決算について監査した結果を、次のとおり報告します。

記

会計帳簿および収入支出状況等、正確で過誤のないことを認めます。

< 監査した帳票類 >

現金出納表

領収証等支払い証明書綴

預金通帳(八十二銀行 普 802922)

以上

令和7年度事業計画(案)

【事業方針】

国宝松本城の来場者数は、令和6年は約98万人となり、過去10年間で最多だった平成28年の水準に迫るものとなりました。そのうち外国人は2割を占め、統計以来最多となりました。

一方、国内の世界遺産登録をめぐる動きとしては、昨年7月に「佐渡島の金山」が新たに世界文化遺産として登録されました。その後10月には、「彦根城」に係る事前評価結果がI COMOSから通知されました。現状滋賀県や彦根市は彦根城単独で登録を目指すことを表明していますが、事前評価においてシリアル(複数)資産での検討の必要性などについても指摘されていることから、「彦根城」に係る今後の動向が注目されます。

また、世界遺産暫定一覧表の見直しに関しては、昨年4月、文化庁文化審議会世界文化遺産部会に検討を行うためのワーキンググループが設置されましたが、具体的な検討状況は非公開となっています。今年1月には「飛鳥・藤原の宮都」が新たに国内候補資産として推薦されることが決定し、暫定一覧表記載資産は「彦根城」及び「平泉(拡張登録)」の実質2件となりました。今後も、文化庁の動きを注視しつつ「近世城郭の天守群」に係る調査研究及び普及啓発を継続的に取り組む必要があります。

今後とも、国宝5城による「近世城郭の天守群」での世界遺産登録を目指すため、世界遺産が地域にもたらすものや登録に向けた取り組み、価値について、情報発信事業を一層推進することで、市民及び県民の登録に向けた機運の向上を図ってまいります。併せて、外国人を含む来場者が松本城の価値や「近世城郭の天守群」への理解を深められるような事業を実施してまいります。

★新規事業

1 「松本城の日」制定記念事業

(1) 講演会(報告会)の開催

ア 目的:「松本城の日」や松本城の世界遺産登録に向けた取り組み、松本城の魅力について広くPRを行うものです。

イ 日程:令和7年11月16日(日)

ウ 内容:令和6年度に実施した松本城創建年代調査報告会を予定

エ 講師:光谷 拓実 氏(奈良文化財研究所 客員研究員)

麓 和善 氏(名古屋工業大学 名誉教授)

(2) 『松本城大解剖』の配布★

ア 目的:「松本城の日」や松本城の世界遺産登録に向けた取り組み、松本城の魅力に

ついて、子どもたちを中心に広く普及啓発を行うものです。

イ 日 程：令和7年10月

ウ 内 容：昨年全面広告として紙面掲載した『松本城大解剖』を再編し、市内中学生及び「松本城の日」の事業参加者に配布し、「松本城の日」の意味や松本城の魅力を周知します。

(3) 信濃毎日新聞社による広告特集の掲載

ア 目 的：「松本城の日」について、県民に広く周知するものです。

イ 日 程：令和7年11月10日（月） 朝刊

ウ 内 容：協賛いただける企業を募り、当日の朝刊に広告を掲載し、「松本城の日」の制定について県民の関心を喚起します。

(4) 看板掲出による普及啓発

ア 目 的：「松本城の日」制定に関わる情報を来訪者に周知するものです。

イ 日 程：令和7年11月

ウ 内 容：松本城二の丸庭園内に「松本城の日」を知らせる看板を掲出し、「松本城の日」の意味や世界遺産登録を目指していることについて、来訪者に広く周知するものです。

(5) パネル展示による普及啓発

ア 目 的：パネルを展示し松本城や世界遺産について周知するものです。

イ 日 程：令和7年11月

ウ 内 容：「松本城の日」を中心に、イベント会場や信毎メディアガーデンなどに松本城や国宝5城、世界遺産に関するパネルを展示します。

2 「近世城郭の天守群」関係自治体による連携事業

(1) 第6回3市市民交流事業（松江市開催）

国宝5城による「近世城郭の天守群」での世界遺産登録に関する普及啓発活動として、現在連携している3市（犬山・松江・松本）の市民が集い、交流及び先進事例を学ぶ勉強会を開催します。今年は、国宝指定10周年記念事業を開催中の松江市を会場とし、意見交換などをおして官民交流を図ります。将来、3市共同での普及啓発活動を目指します。

ア 日 時：令和7年9～10月

イ 場 所：松江市

ウ 内 容：

（1日目）城視察、松江市事例発表

（2日目）勉強会及び意見交換会



昨年度の様子

(2) SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」による情報発信

ア 目 的：ラジオ放送により、県民に向け継続的な情報発信を行うものです。

イ 日 程：月1回

ウ 内 容：ラジオにて、松本城が国宝5城による「近世城郭の天守群」での世界遺産登録を目指していることを伝えるCMを放送します。

また、SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」に出演し、松本城や世界遺産の現状、世界遺産登録に向けた取り組みなどを発信します。各城からも出演してもらい生の声をお届けします。

(3) 国宝5城連携事業

ア 目 的：国宝5城が連携して実施する事業を通じて、「近世城郭群の天守群」の世界遺産登録に向けた情報発信を行います。

イ 日 程：令和7年8月

ウ 内 容：国宝城郭都市観光協議会の主催により国宝5城（松本・姫路・彦根・犬山・松江）で同日床磨きを実施予定です。実行委員会として参加し、天守の保存を図るとともに世界遺産登録の一助とするものです。



昨年度の様子

(4) 「お城E X P O in 松江」の視察及び普及啓発

世界遺産登録に向けて連携している松江城が国宝指定10周年を迎え、お城E X P Oが開かれることから、ラジオやSNSでの開催に向けた情報発信や、当日ノベルティ配布によるPRを行います。また、5市長が登壇予定の「国宝五城サミット」等を視察します。

ア 日 時：令和7年6月28日（土）～29日（日）

イ 場 所：島根県松江市

3 教育活動による普及啓発

将来を担う若年層に対し、松本城や国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に関する関心を高めるための事業を行います。

(1) (年少～小学生対象)「国宝松本城七不思議」親子探検ツアー

子どもたちや子育て世代の方に、松本城や他の城に関する知見や愛着を深めてもらうことを目的に開催します。

ア 日 程：令和7年12月

イ 参加数：30名

ウ 内 容：現存する5つの国宝天守と比較しながら松本城の七不思議に関する問題を出題し、松本城の魅力を伝えます。

(2) (小学生対象) 松本城検定クイズ

市内小学校へ出向き、松本城や世界遺産、国宝5城についてクイズ形式で学び、楽しみながら理解を深めてもらうものです。松本城研究専門員を講師として実施し、『松本城百科』を含む実行委員会ノベルティを配布します。

ア 日 程：通年

イ 場 所：各学校

ウ 内 容：松本城などに関するクイズ25問を出題・解説します。

(3) (特別支援学校対象) 松本城検定クイズ

市内外の特別支援学校へ出向き、松本城や世界遺産、国宝5城についてクイズ形式で学び、楽しみながら理解を深めてもらうものです。松本城研究専門員を講師として実施し、実行委員会ノベルティを配布します。

ア 日 程：通年

イ 場 所：各学校

ウ 内 容：松本城などに関するクイズを30問程度出題・解説します。

(4) (小・中学生対象) 第26回国宝松本城絵画コンクールでの情報発信

松本城の写生を通じて、小中学生の松本城への興味関心を深めるものです。

ア 主 催：松本市、松本市教育委員会、信濃毎日新聞社

イ 特別協力：実行委員会

ウ 開 催 日：令和7年10月末

エ 開催場所：松本城周辺

オ 内 容：優秀な作品には、賞状と記念品が贈呈されます。なお、令和3年度から「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会会長賞を設けました。

(5) 高校生・大学生との連携★

ア 目 的：将来を担う若年層に、国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録や松本城への関心を高めてもらうために取り組むものです。

イ 日 程：令和7年9～11月

ウ 内 容：松本大学の学生と連携し、「松本城の日」に向けた大学生対象の学習や各事業での普及啓発活動を実施します。

4 デジタルを活用した情報発信

若者を主なターゲットとして、デジタルを活用して情報発信することで、松本城や国宝5城による「近世城郭の天守群」の普及啓発を行います。

(1) 天守解説動画の制作★

ア 目的：「近世城郭の天守群」における天守の構造に関わる見どころを解説する動画を制作し、県内外の来訪者に向け発信することで、ガイドなしでは見逃しがちな天守の魅力を広く発信するものです。

イ 制作期間：令和7年～令和8年度

ウ 内容：令和7年度に企画・立案し、令和8年度に制作します。

(2) 実行委員会公式SNSでの情報発信

ア 目的：若者を中心により多くの人々に松本城の魅力や国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録へ向けた取り組みを周知するものです。

イ 日程：通年

ウ 内容：国宝松本城や実行委員会の公式SNSから、実行委員会の事業報告や松本城及び世界遺産に関する情報を発信します。

5 松本市内35地区への普及啓発事業

地区公民館及び町会、文化財課（R7から松本城整備課）と連携し、平成29年度から継続して行っている事業です。

ア 目的：各地区に出向き、松本城の歴史や国宝5城、世界遺産について解説し、国宝5城による「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向け理解を深め、一層の機運の醸成を図るものです。

イ 日程：令和7年11月以降

ウ 内容：市内35地区の市民を対象に、地区公民館や町会と連携し座学及び松本城天守の見学を実施します。

令和7年度収入支出予算書（案）

<収入>

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1 負担金	1,950,000	1,950,000	0	松本市、信濃毎日新聞社各50万円、 松本商工会議所、松本古城会各30万 J A松本ハイランド5万円 信越放送松本放送局30万円
2 繰越金	314,560	535,000	-220,440	
3 売上額	5,000	5,000	0	ピンバッジなど販売
4 雑入	10	10	0	預金利息
収入合計	2,269,570	2,490,010	-220,440	

<支出>

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1 会議費	6,000	6,000	0	総会・役員会飲料代他
2 事業費	2,178,000	2,413,000	-235,000	実行委員会ホームページ更新保守(66,000) ホームページデータベース制作費(132,000) 松本城・旧開智学校絵画展協賛(80,000) イコモス年会費(50,000) 5城連携に係わる情報発信事業(550,000) 「松本城の日」関連事業費(700,000) 会員連携事業(400,000) 動画制作企画・立案(200,000)
3 事務費	15,000	15,000	0	振込み手数料他
4 事務局費	20,000	20,000	0	人件費
5 予備費	50,570	36,010	14,560	
支出合計	2,269,570	2,490,010	-220,440	

資 料

1	「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会、松本市の活動 経過及び日本国内の世界遺産に関する動向	P 2 0
2	日本の世界遺産	P 2 3
3	世界遺産登録の流れ	P 2 5
4	松本城及び世界遺産推進運動等に関する信濃毎日新聞記事	P 2 6
5	国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）	P 3 2
6	「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会規約	P 3 3
7	令和 7 年度「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会 構成団体名簿	P 3 5

松本市の活動経過及び世界遺産に関する動向

1 世界遺産登録への取組み

(1) 令和6年度 松本市及び近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会の取組み

本市では、関係市と近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会（以下「準備会」）を設置し国宝5城による「近世城郭の天守群」の登録を目指し、調査研究を実施しました。

ア 準備会で、総会を1回、ワークショップを1回、世界遺産及び城郭の専門家によるワーキンググループを3回開催しました。

イ 5月に3県（長野県・愛知県・島根県）3市（松本市・犬山市・松江市）担当者による犬山城視察及び担当者会議を行いました。

ウ 6月に「近世城郭の天守群」提案書（令和5年度版）を文化庁へ提出しました。

エ 11月に韓国で開催された国際学術委員会（ICOFORT）の会議に参加し、韓国に所在する類似資産の調査を行いました。

オ 2月に第2回3市長と専門家（西村幸夫先生）による意見交換会を行いました。

【これまでの経過】

平成18年11月 松本市は長野県と共同で、国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出する世界遺産登録の国内候補を載せた「暫定一覧表（リスト）」に国宝松本城を推薦する提案書を文化庁に提出しました。（審議結果：継続審議案件）

19年12月 長野県と松本市が、再提案書及び「姫路城を中心とした日本の近世城郭群」で研究を進めることを含む検討状況報告書を提出、平成20年3月に世界文化遺産特別委員会ワーキンググループのヒアリングを受けました。

20年 1月 松本市長と彦根市長・犬山市長との間で、今後「近世城郭群」で研究を進めることの合意が得られ、3月に事務レベル会議を開催しました。

9月 再提案書及び検討状況報告書（平成19年12月提出）に対し、文化庁文化審議会文化財分科会世界遺産特別委員会から「カテゴリーⅠbに該当」との審議結果を受けました。

23年 3月 3市（松本市・彦根市・犬山市）で（仮称）国宝四城世界遺産登録推進会議準備会を設置しました。

28年 3月 長野県教育委員会事務局（文化財・生涯学習課）と、第1回（仮称）松本城世界遺産調査研究に係る連絡会議を設置しました。

29年 9月 日本イコモス国内委員会理事等との意見交換会を開催しました。

30年 6月 3市長（松本市・犬山市・松江市）で文化庁に要望書を提出しました。

- 10月 ICOFORT国際会議2018 in 彦根の学術セッションにて3市（松本市・犬山市・松江市）が発表しました。
- 10月 ICOFORT委員長等との意見交換会（「近世城郭の天守群」の価値を検討する国際専門家会議）を初開催しました。
- 令和 元年 8月 準備会のワークショップを初開催しました。
- 9月 ICOFORT国際会議2019 in 瀋陽（中国）に参加し、学術セッションにて、「近世城郭の天守群と世界遺産登録推進プロジェクト」について説明を行いました。
- 10月 文化庁が「我が国における世界文化遺産の現状・課題等に関する調査について」という調査を実施し、3市（松本市・犬山市・松江市）で回答を作成し、長野県・松本市の共同で回答しました。
- 2年 7月 松本市長が姫路市を表敬訪問し、世界遺産登録に向けた取り組みを報告しました。
- 12月 準備会の令和元年度事業及び調査研究結果について、3県3市（長野県・愛知県・島根県・松本市・犬山市・松江市）で文化庁へ報告しました（愛知県、島根県がオブザーバーとして初参加）。
- 3年 6月 3市長（松本市・犬山市・松江市）が丹羽文部科学省副大臣へ表敬しました。
- 3月 文化庁へ「近世城郭の天守群」提案書（頭紙2月25日付）を提出しました。
- 4年 6月 全国市長会に合わせて3市長（松本市・犬山市・松江市）懇談を行いました。
- 11月 3市長（松本市・犬山市・松江市）による姫路市長表敬を行いました。
- 3月 犬山市にて3市長（松本市・犬山市・松江市）懇談を行いました。
- 5年 8月 3市長（松本市・犬山市・松江市）と専門家の意見交換会を行いました。
- 10月 ICOFORT国際会議2023 in 南京に参加し、合わせて類似資産の調査を行いました。
- 6年 6月 文化庁へ「近世城郭の天守群」提案書（令和5年度版）を提出しました。
- 11月 ICOFORT国際会議2024 in ソウルに参加し、合わせて類似資産の調査を行いました。
- 2月 第2回3市長と専門家の意見交換会を行いました。

※ ICOFORTとは、ユネスコ世界遺産の答申等を行う「イコモス」の国際学術委員会の一つ。世界各地に残されている城郭、要塞等の歴史評価、遺産としての価値づけ、保存活用などをめぐる活動を行っている。

2 世界遺産に関わる調査及び研究活動

(1) 国際記念物遺跡会議（イコモス）及びユネスコ等の動向

ア 令和6年7月にインドのニューデリーで第46回世界遺産委員会の開催が開催され、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されました。

イ 令和6年10月に「彦根城」に係る事前評価結果がイコモスから通知されました。

(2) 暫定一覧表記載資産の動向

ア 武家の古都・鎌倉（平成4年暫定リスト記載）

令和元年から登録推進活動を休止しており、事実上断念との見方も出ています。

イ 彦根城（平成4年暫定リスト記載）

彦根城は暫定一覧表に記載されてから長期間が経過しており、日本国政府による推薦の可否を含め検討を行うため、令和5年9月にユネスコにおいて導入された事前評価制度に申請し、令和6年10月には事前評価結果が通知されました。現状滋賀県や彦根市は、彦根城単独で登録を目指すことを表明しています。

ウ 飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群（平成19年暫定リスト記載）

令和6年度の国内推薦資産に決定し、令和7年1月に日本政府からユネスコへ正式版推薦書が提出されました。

エ 平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群(拡張)

(平成24年暫定リスト記載)

「平泉」は、平成23年の世界遺産登録時に含めることができなかった資産について拡張登録を目指しており、推薦書素案作成などの取組みが進められています。

(3) 日本イコモス国内委員会の継続会員

維持会員として、日本イコモス国内委員会及びイコモス（国際記念物遺跡会議）、並びに日本ユネスコ協会連盟が行う世界遺産保護、文化財保護活動に協力しました。

日本の世界遺産

1 文化遺産 21件 (2025年5月現在)

No.	登録遺産名	登録年	該当基準
1	法隆寺地域の仏教建造物	1993	(i)(ii)(iv)(vi)
2	姫路城	1993	(i)(iv)
3	古都京都の文化財	1994	(ii)(iv)
4	白川郷・五箇山の合掌造り集落	1995	(iv)(v)
5	原爆ドーム	1996	(vi)
6	厳島神社	1996	(i)(ii)(iv)(vi)
7	古都奈良の文化財	1998	(ii)(iii)(iv)(vi)
8	日光の社寺	1999	(i)(iv)(vi)
9	琉球王国のグスク及び関連遺産群	2000	(ii)(iii)(vi)
10	紀伊山地の霊場と参詣道	2004	(ii)(iii)(iv)(vi)
11	石見銀山の銀鉱遺跡とその文化的景観	2007	(ii)(iii)(v)
12	平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園 及び考古学的遺跡群 -	2011	(ii)(vi)
13	富士山-信仰の対象と芸術の源泉-	2013	(iii)(vi)
14	富岡製糸場と絹産業遺産群	2014	(ii)(vi)
15	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、 石炭産業	2015	(ii)(iv)
16	ル・コルビュジエの建築作品 -近代建築運動への顕著な貢献-	2016	(i)(ii)(vi)
17	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	2017	(ii)(iii)
18	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	2018	(iii)
19	百舌鳥・古市古墳群	2019	(iii)(iv)
20	北海道・北東北の縄文遺跡群	2021	(iii)(v)
21	佐渡島の金山	2024	(iv)

2 自然遺産 5件

No.	登録遺産名	登録年	該当基準
1	屋久島	1993	(vii)(ix)
2	白神山地	1993	(ix)
3	知床	2005	(ix)(x)
4	小笠原諸島	2011	(ix)
5	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	2021	(x)

3 暫定一覧表登録 <文化遺産4件>

- 「彦根城」 (滋賀県、平成4年 1992)
- 「古都鎌倉の寺院・神社ほか」 (神奈川県、平成4年 1992)
- 「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」 (奈良県、平成19年 2007)
- 「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」【拡張】
(岩手県、平成24年 2012)

4 世界遺産暫定一覧表候補(カテゴリーⅠ)の文化資産 (文化庁資料より抜粋)
<カテゴリーⅠ> 13件

- a) 提案書の基本的主題を基に、提案地方公共団体が準備を進めるべきもの
- 「最上川の文化的景観—舟運と水が育んだ農と祈り、豊饒な大地—」(山形県)
 - 「天橋立—日本の文化景観の原点」(京都府)
 - 「錦帯橋と岩国の町割」(山口県)
 - 「四国八十八箇所霊場と遍路道」(徳島、高知、愛媛、香川県)
 - 「阿蘇—火山との共生とその文化的景観」(熊本県)
- b) 提案地方公共団体を中心に、当面、主題及びこれに基づく資産構成に関して一定の方向性が見えた段階で、関係地方公共団体により準備を進めるべきもの

[近世の城郭・城下町関連の文化資産]※

- 「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」(石川県)
- 「**松本城**」(長野県)
- 「萩—日本の近世社会を切り拓いた城下町の顕著な都市遺産—」(山口県)

※ 「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」、「松本城」、「萩—日本の近世社会を切り拓いた城下町の顕著な都市遺産」は、いずれも近世の城郭あるいは城下町に関連する主題による提案であり、他の同種資産と組み合わせることにより、顕著な普遍的価値を証明し得る可能性について検討すべきものとして評価できるため、「カテゴリーⅠ」に該当するものとした。

[近世の社寺とその門前町関連の文化資産]

- 「善光寺と門前町」(長野県)

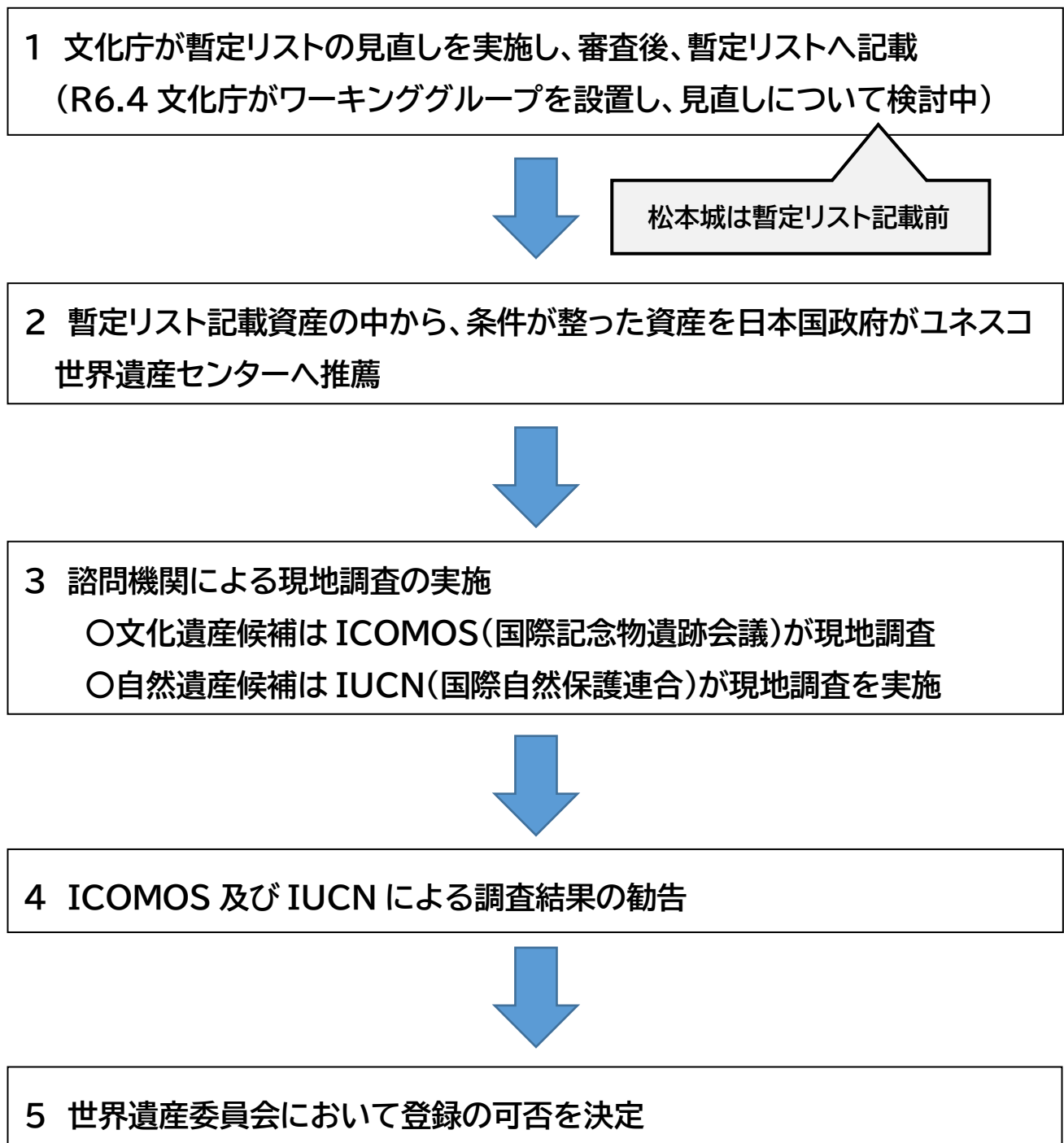
[近世の教育資産]

- 「水戸藩の学問・教育遺産群」(茨城県)
- 「足利学校と足利氏の遺産」(栃木県)
- 「近世岡山の文化・土木遺産群—岡山藩郡代津田永忠の事績—」(岡山県)

[近世の街道と宿場町関連の文化資産]

- 「妻籠宿・馬籠宿と中山道—『夜明け前』の世界—」(長野県、岐阜県)

世界遺産登録の流れ



- 登録されるためには、世界遺産に必要な価値(顕著な普遍的価値)をもつことや評価基準を満たしていることが必要
- また、登録された後、将来にわたって継承していくための法的保護や保存管理の状況なども条件となる

松本城及び世界遺産推進運動等に関する信濃毎日新聞記事（抜粋）

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会がクリアファイルを作った
2024（令和6）年5月29日（水）朝刊

松本市や信濃毎日新聞社などで作る「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会が、松本城の写真を使ったクリアファイルを作った。世界遺産登録へ向けて機運を高めようと製作。28日、協賛した日本郵便信越支社（長野市）に感謝状を贈った。

ファイルには城を中心とした街並みを小型無人機ドローンで撮影した写真を採用。7千枚作り、松本城検定クイズの参加者に配布するほか、市内の郵便局などで配る。

同支社中信地区連絡会の丸山徹雄地区統括局長は「松本城はたたずまいが魅力。アルプスや街並みも見え、世界遺産にふさわしいと思う」とPRした。

松本城含む国宝5城をPR 「世界遺産に」実行委
2024（令和6）年6月5日（水）朝刊

松本市や信濃毎日新聞社など71団体で作る「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会は4日、市内で総会を開き、本年度事業計画を決めた。松本城を含む国宝5城を「近世城郭の天守群」として世界遺産登録を目指しており、同天守群を周知する英語と日本語のパンフレット作成などを盛り込んだ。

日本の城郭では、既に姫路城（兵庫県姫路市）が世界遺産に登録され、彦根城（滋賀県彦根市）が国内候補「暫定リスト」に入っている。

彦根城は国連教育科学文化機関（ユネスコ）諮問機関が関与して助言する「事前評価」の制度を活用しており、10月に評価結果が通知される。一方、国の文化審議会世界文化遺産部会は4月、暫定リストに入れる資産を検討するワーキンググループの設置を決めている。実行委はこうした動向を踏まえ、動きがあった際に対応できるよう調査研究や普及啓発を引き続き行うことを確認した。

事業計画には他に、「松本城の日」（11月10日）にNPO法人世界遺産アカデミー主任研究員を招いた講演会の開催、国宝5城の各城で同じ日に実施予定の床磨きに実行委として参加することなどを盛り込んだ。

国宝5城、一層の輝き 松本城と犬山・松江・彦根・姫路 合同床磨き 2024（令和6）年8月18日（日） 朝刊

いずれも国宝の松本城（松本市）、犬山城（愛知県犬山市）、松江城（松江市）、彦根城（滋賀県彦根市）、姫路城（兵庫県姫路市）で17日、地元の住民らがそれぞれの城の床を磨く「合同床磨き」が行われた。5城の地元の5市でつくる国宝城郭都市観光協議会（事務局・彦根市）が互いの観光振興を目的に初めて企画。松本城では子どもから高齢者まで約160人が20分ほど作業した。

午前7時15分すぎ、松本城本丸庭園に集まった市民らは市の担当者の音頭で「えいえいおー」と声を合わせ、天守に入った。使用するのは米ぬかと砕いたクルミを布で包んだ「たんぽ」。城が好きで家族で犬山城などを訪れたことがあるという松本市鎌田小学校6年の足立凜来（りく）さん（12）は、自身と家族のたんぽの汚れ具合を見比べながら手を動かした。母親の尚さん（41）は「他の城と一緒に観光客を呼ぶ活動はいいことだと思う」と話した。

連携して世界遺産登録を目指す松本、犬山、松江の3城の地元住民団体は昨夏、松本城で長年続く市民の床磨きを参考に初めて合同床磨きを実施。今年は独自に登録を目指す彦根城と、既に登録されている姫路城も加わり、国宝城郭都市観光協議会が主催した。臥雲義尚市長は「五つの城を国内外にアピールすると同時に3城の世界遺産登録に向けた一歩につながる試みだ。今後も続けたい」と話していた。

国宝天守がある3市市民が交流 松本・犬山・松江 2024（令和6）年10月9日（水） 朝刊

国宝天守がある松本市、愛知県犬山市、松江市の市民が集う「3市市民交流会」が8日、松本市内で開かれた。3市の観光・行政関係者ら約20人が参加。世界遺産登録を目指す活動の現状や課題について意見を交わした。

先例を学ぶため、世界遺産の白川郷（岐阜県白川村）で景観保全活動を続ける「白川郷荻町の自然環境を守る会」の元会長、三島敏樹さん（65）が講演。世界遺産に登録されても「住民が幸せにならなければ意味がない」とし、「観光と文化財保存という相反する概念を調和させることが大事だ」と話した。

その後の意見交換では、城の外壁や屋根を修理している期間の観光対応、ガイドや通訳の高齢化と若手の確保といった課題が上がった。松本城では客足が落ち込む冬季の誘客策として、プロジェクションマッピングを実施していると紹介。「市民を巻き込み、活用法を話し合うことが必要だ」との意見が出た。

小学生、松本城クイズに挑む 松本・波田小3年 見学控え理解深める
2024（令和6）年10月11日（金） 朝刊

松本市波田小学校の3年生約120人は10日、市や信濃毎日新聞社などでつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会が企画する「国宝松本城検定クイズ」に挑戦した。18日に実際に城を見学するのを前に、天守の構造や歴史などの理解を深めた。

市文化財課松本城研究専門員の上條昌明さんが出題した。「天守の一番高いところは地上何メートル？」「天守の壁の黒い漆は何年に1回塗り替えている？」など3択の25問をスクリーンに順番に投影。児童は「ヒントください」とねだりながら回答を進めた。答え合わせで、黒い漆は職人が毎年塗り替えるという正解が出ると、「えー」と驚きの声が上がった。

全問正解した丸山凌平さん（8）は「とても勉強になった。（真下の敵を攻撃するための）『石落とし』を見るのが楽しみ」と話していた。クイズは城を世界遺産にする機運を高める目的で2009年から毎年実施している。

モノクロで際立つ松本城、切手に 地元木版画家の塩入さんデザイン 来月発売
2024（令和6）年10月29日（火） 朝刊

日本郵便信越支社（長野市）が11月1日、「松本城の日」（11月10日）に合わせてオリジナルフレーム切手を発売する。デザインを手がけた木版画家の塩入久さん（75）＝松本市元町＝が今月28日、松本郵便局（中央2）を訪れ、紅葉や桜など四季折々の松本城を表現した切手がお披露目された。

木目を浮き出させて彫った入道雲や雪をかぶる常念岳などを背景に、さまざまな角度から見た松本城がデザインに盛り込まれている。「外壁が黒い松本城をモノクロで際立たせたい」（塩入さん）として、あえて使う色を少なくしたという。

オリジナルフレーム切手の販売は3年目。中信地区で郵便物販を担当する中田保志（やすし）さん（60）は「松本城の世界遺産登録に向けて、市民が松本城の日を知る機会になれば」と話した。

世界遺産登録へ機運を 10日「松本城の日」に講演会
2024（令和6）年11月1日（金） 朝刊

松本市や信濃毎日新聞社などでつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会は「松本城の日」の10日、松本城などの世界遺産登録に向けた機運を高めるため、記念講演会を市立博物館で開く。世界遺産の普及啓発などに取り組むNPO法人世界遺産アカデミー

主任研究員の宮沢光さんが「世界遺産とは何か 市民が守る世界遺産の価値」と題して講演する。

実行委などは「近世城郭の天守群」として松本城を含む国宝5城の世界遺産登録を目指しており、市民の理解を深めようと講演会を企画した。世界遺産アカデミーは、世界遺産検定を主催し、世界遺産に関わるセミナーや講演会の開催、教育機関や自治体への講師の派遣などを手がけている。宮沢さんは、世界遺産登録への道のりや、市民の関わり方などを解説する。

午後1時半～3時半。入場無料。定員70人で先着順。

「アルプちゃん」甲冑姿も大人気 「松本城の日」に初登場
2024（令和6）年11月12日（火） 朝刊

「松本城の日」の10日、甲冑（かっちゅう）姿バージョンの松本市公式マスコットキャラクター「アルプちゃん」が初めて松本城公園に登場した。国宝松本城の世界遺産登録を目指す取り組みの一環で、新たに着ぐるみを作成。子どもたちに風船を手渡し、観光客らの撮影に応じていた。

松本城の日を記念してクリアファイルやポストカードを配布。アルプちゃんが登場すると、子どもたちが「かわいい」と駆け寄った。ファイルなどの配布には午前10時の開始前に約100人が並ぶ人気だった。

市内の松本県ヶ丘高校探究科の生徒2人も配布を手伝った。同校1年の田中志歩さん（15）は「後ろから見ると、普段より山が強調されてかわいい」と話していた。

国宝松本城絵画コンクール審査会 入賞35点・入選30点決まる
2024（令和6）年12月4日（水） 朝刊

第25回国宝松本城絵画コンクール（松本市、市教育委員会、信濃毎日新聞社主催）の審査会は2日、松本市中央2の信毎メディアガーデンで開いた。県内の小中学生が写生大会などで描いた239点の中から入賞35点、入選30点を選んだ。

審査は同市美術教育研究会の5人が行い、同会員で同市芳川小学校の赤羽洋一郎教頭（53）は「城の形や色合い、技法はさまざま。子どもたちが表現したい城が描かれていて年々力作が増えている」と話していた。応募全作品は来年1月24～26日に松本市深志2の百貨店「井上」本店で展示し、26日に表彰式を行う。

「松本城を世界遺産に」 実行委に本社が寄付
2024（令和6）年12月5日（木） 朝刊

信濃毎日新聞社は4日、国宝松本城（松本市）の世界文化遺産登録に向けた運動に役立ててほしいと、松本市などでつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会に15万円を寄付した。竹内克彦・松本本社営業部長が市役所大手事務所を訪ね、小口一夫・文化観光部長に目録を手渡した。

寄付は11月10日の「松本城の日」をPRする新聞広告への協賛金の一部。広告は「松本城大解剖」と題し、県内の大学生・大学院生5人が専門家を取材し、城の秘密や魅力に迫った。64の協賛企業・団体名も掲載した。全面広告の大型パネルも作り、松本城黒門前などに置いた。12月下旬まで、市立博物館2階に展示している。

小口部長は「（寄付を）登録に向けた事業に活用していきたい」と話した。

松本城の謎、親子で探検 28人参加 特徴や歴史学ぶ
2024（令和6）年12月8日（日） 朝刊

松本市の松本城で7日、クイズに答えながら城の特徴や歴史を学ぶ「国宝松本城七不思議」親子探検ツアーがあった。市や信濃毎日新聞社などでつくる「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会が主催。市内などから親子連れ28人が参加し、城内を巡って松本城への理解を深めた。

参加者は市教育委員会文化財課の研究専門員らの説明を聞きながら城内を歩いた。大天守の柱に魚のうろこのような模様がある理由や、大天守の3階が暗い理由などを問う3択クイズ7問に挑戦。普段は入ることができない3階部分に入り、「外から見ると5階建てだが、3階が屋根裏になっていて実際は6階建て」といった解説を聞いて答えを考えた。

全問正解した松本市並柳小学校2年の佐藤大楽（たいら）さん（8）は初めて天守に登ったといい、「3階は宝物がしまっていてあったのかと思ったけれど違うと分かった」と話していた。

世界遺産へ「天守群」連携確認 松本など、国宝天守ある3市の市長懇談
2025（令和7）年2月8日（土） 朝刊

国宝天守の松本城、犬山城、松江城がある、松本市の臥雲義尚市長、愛知県犬山市の原欣伸（よしのぶ）市長、松江市の上定昭仁市長が7日、オンラインで懇談した。3市が準備を進める姫路城（兵庫県姫路市）と彦根城（滋賀県彦根市）を加えた「近世城郭の天守群」の世界遺産登録を目指し、連携を一層深めることを確認した。

3 市長の会談は2023年8月以来。国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関・国際記念物遺跡会議（イコモス）国内委員長を務めた経験がある西村幸夫・国学院大教授を前回に続き講師に招いた。

懇談は一部非公開。終了後の取材によると西村氏は、5城は大砲など軍事兵器が進化した時代を経て現存する貴重な木造建築で、戦乱から平和への移行を映し出す一との「物語」は「明確で分かりやすく、世界に通用する」と解説した。

同席した市文化観光部の小口一夫部長は取材に、「松本城を市民により身近に感じてもらう、世界遺産登録への機運醸成を図ることが松本市としては大事」。海外からの観光客が増えていることから、城の魅力を世界にも発信していきたい—とした。

国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）

前文

この憲章の当事国政府は、その国民に代って次のとおり宣言する。

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならない神聖な義務である。

政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われないためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。

これらの理由によって、この憲章の当事国は、すべての人に教育の充分で平等な機会が与えられ、客観的真理が拘束を受けずに探究され、且つ、思想と知識が自由に交換されるべきことを信じて、その国民の間における伝達の方法を発展させ及び増加させること並びに相互に理解し及び相互の生活を一層真実に一層完全に知るためにこの伝達の方法を用いることに一致し及び決意している。

その結果、当事国は、世界の諸人民の教育、科学及び文化上の関係を通じて、国際連合の設立の目的であり、且つその憲章が宣言している国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するために、ここに国際連合教育科学文化機関を創設する。

世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）

条約の目的

文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立すること。

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会規約

（名 称）

第1条 この会は、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会（以下「実行委員会」といいます。）といいます。

（目 的）

第2条 この実行委員会は、松本城の「世界遺産」登録の実現をめざし、松本市民の共通の宝である松本城の恒久的な保存と文化財保護意識の醸成及び地域産業の活性化を図ることを目的とします。

（事 業）

第3条 この実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行います。

- (1) 「世界遺産」登録実現のための運動に関すること
- (2) 「世界遺産」保護活動による国際協力に関すること
- (3) 松本城及びその周辺地域の整備の促進に関すること
- (4) その他、目的達成に必要な事業

（組 織）

第4条 この実行委員会は、松本城を世界遺産に登録する運動に賛同する団体等を代表する者(以下「会員」といいます。)をもって組織します。

2 この実行委員会への入会は、会員2名以上の推薦により、役員会の承認を経て認めるものとします。

（役 員）

第5条 この実行委員会に、次の役員を置きます。

会 長 1名
副会長 6名
監 事 2名

2 会長、副会長及び監事は、会員の互選により定めます。

3 本会に実行委員会の推薦により顧問、参与及びその他の役員を置くことができます。

（役員任期）

第6条 役員の任期は、実行委員会が解散するときまでとします。但し、団体の中で異動があったときは、その後任者が継承します。

（職 務）

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理します。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理します。

3 監事は、会計監査にあたります。

(総 会)

第8条 総会は、会員をもって構成し、次に掲げる事項を審議します。

- (1) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) 規約の改廃に関する事項
- (4) その他会長が必要と認めた事項

2 総会は、会長が招集し、会長が議長となります。

3 総会は、会員の過半数の出席がなければ開催できません。

4 総会の議事は、出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決定します。

(役員会)

第9条 役員会は、正副会長をもって構成し、次に掲げる事項を審議します。

- (1) 総会に付議する事項
- (2) 事業の執行に関する事項
- (3) その他会長が必要と認めた事項

2 役員会は、会長が招集し、会長が議長となります。

3 役員会は、役員の過半数の出席がなければ開催できません。

4 役員会の議事は、出席役員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決定します。

(会 計)

第10条 実行委員会の経費は、負担金、協賛金及びその他の収入をもって支弁します。

2 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとします。

(事務局)

第11条 実行委員会の事務局は、信濃毎日新聞松本本社内に置きます。

2 事務局の職員は、会長が任命します。

3 実行委員会の事務処理は、信濃毎日新聞松本本社の相当規定を準用します。

(解 散)

第12条 実行委員会は、第2条の目的が達成されたときに解散します。

(補 則)

第13条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定めます。

附 則

1 この規則は、平成13年7月18日から施行します。

2 実行委員会の最初の会計年度は、第10条第2項の規定にかかわらず、平成13年7月18日に始まり、平成14年3月31日に終わるものとします。

令和7年度 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会 構成団体名簿

(令和7年6月2日現在)

	団体名	職名等	代表者名	実行委員会役職
1	松本市	市長	臥雲 義尚	会長
2	松本市議会	議長	阿部 功祐	副会長
3	松本古城会	会長	赤羽 郁夫	副会長
4	信濃毎日新聞社	常務取締役 松本本社 代表	井口 弥寿彦	副会長
5	松本市町会連合会	会長	中田 景文	副会長
6	松本商工会議所	会頭代行	齊藤 茂行	副会長
7	松本ハイランド 農業協同組合	代表理事組合長	田中 均	副会長
8	松本市教育委員会	教育長	曾根原 好彦	
9	NHK長野放送局	局長	松谷 豊	
10	信越放送松本放送局	常務取締役 松本放送局長	長岡 克彦	
11	(株)テレビ信州	中南信支社長兼営業部長	谷口 考司	
12	(株)テレビ松本ケーブルビジョン	代表取締役社長	須崎 修	
13	長野エフエム放送(株)	代表取締役社長	小林 治	
14	株式会社市民タイムス	代表取締役社長	新保 裕介	
15	松本郵便局	局長	青木 重幸	
16	東日本旅客鉄道(株)	駅長	北沢 敏広	
17	アルピコホールディングス(株)	代表取締役社長	佐藤 裕一	
18	松本地区タクシー協議会	議長	伊藤 篤	
19	松本交通安全協会	会長	小林 磨史	
20	一般社団法人松本観光コンベンション協会	会長	齊藤 茂行	
21	長野県経営者協会中信支部	支部長	神澤 陸雄	監事
22	松本商店街連盟	専務理事	齊藤 勉	
23	(一社)松本青年会議所	理事長	金井 佑輔	
24	松本旅料飲食団体協議会	議長	大野 貴由	
25	松本特産品振興協会	会頭代行	齊藤 茂行	
26	松本観光名産品協会	会長	林 信利	
27	浅間温泉観光協会	会長	二木 伸次	
28	松本市内ホテル旅館組合連合会	会長	中澤 伸友	
29	街を花いっぱいにする会	会長	臥雲 義尚	
30	松本市女性団体連絡協議会	会長	原 弥生	
31	松本市高齢者クラブ連合会	会長	小仁熊 恭夫	
32	地域文化財連絡協議会	会長	長岡 寿	
33	松本史談会	会長	窪田 雅之	
34	松本ユネスコ協会	会長	濱 幾郎	監事
35	日本国際連合協会 松本支部	支部長	本郷 ゆみ子	
36	国際ソロプチミスト松本	会長	安井 裕子	
37	国際ゾンタ松本ゾンタクラブ	会長	古旗 征子	

	団体名	職名等	代表者名	実行委員会役職
38	松本市駐車場事業協同組合	理事長	土橋 伊久雄	
39	松本SGGクラブ	会長	斉藤 雅彦	
40	アルプス善意通訳協会	会長	中田 和子	
41	松本城案内グループ	グループ長	齊藤 孝資	
42	松本城鉄砲蔵赤羽コレクション会	会長	関 通喜	
43	江戸千家	代表	田中 宗文	
44	松本市謡曲連合会	代表	瀧口 孝一	
45	松菊会	会長	横山 金生	
46	中信華道会	会長	中村 理尚	
47	(株)JTB松本オフィス	松本オフィス長	山口 昌之	
48	(株)日本旅行松本支店	支店長	丸山 聡	
49	近畿日本ツーリスト(株) 松本営業所	営業所長	伊藤 健公	
50	東武トップツアーズ(株)松本支店	支店長	高橋 実	
51	(株)農協観光 長野エリアセンター	エリア長	高山 隆	
52	松本城ロータリークラブ	会長	西川 禎人	
53	いけばなインターナショナル信濃支部	支部長	上條 香月	
54	(株)長野放送	中南信支社長	塚田 広行	
55	長野朝日放送(株)中南信支社	中南信支社長	大竹 学	
56	松筑剣道連盟	会長	百瀬 裕	
57	キッセイ薬品工業株式会社	代表取締役会長 最高経営責任者	神澤 陸雄	
58	公益社団法人 松本地域シルバー人材センター	理事長	青木 敏和	
59	松本深志ライオンズクラブ	会長	吉岡 直美	
60	明治安田生命保険相互会社松本支社	支社長	緒方 純子	
61	(株)アスピア	代表取締役	百瀬 方洋	
62	NTPトヨタ信州(株)	代表取締役社長	日高 雅之	
63	サスナ力通信工業(株)	代表取締役社長	宮坂 昌樹	
64	(有)中部警備救助	代表取締役	古畑 忠俊	
65	(株)巴屋	代表取締役	武田 揚介	
66	松本ガス(株)	代表取締役社長	清水 是昭	
67	松本土建(株)	代表取締役社長	大池 太士	
68	笹井酒造(株)	代表取締役	笹井 雄二	
69	(株)エム・エス・ディ	代表取締役	工藤 勲	
70	川越印刷(株)	代表取締役	小林 雅範	
71	電算印刷(株)	代表取締役社長	宮澤 徹	
	松本古城会	名誉会長（前松本古城会長）	田中 荘太	顧問

会員数：71団体

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会事務局

信濃毎日新聞松本本社

〒390-8585 長野県松本市中央2-20-2

TEL 0263-32-3460

FAX 0263-32-1215

松本市役所文化観光部文化振興課

〒390-0874 長野県松本市大手3-8-13

TEL 0263-34-3293

FAX 0263-34-3018

E-mail bunkashinko@city.matsumoto.lg.jp



「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会公式ホームページ